

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	47	事業名	社会福祉事業	担当部課	福祉部福祉課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち			決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大			会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無	予算区分(款一 項 一 目)			
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市避難行動要支援者支援要綱			3-1-1 社会福祉総務費
	事業開始の背景、経緯等	高齢者や障がい者等が災害時等における支援を受けるため、避難行動要支援者として登録する。 ・戦没者への哀悼の意を表するため、市内在住の戦没者遺族を対象に、戦没者追悼式を実施。				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・支援を必要とする高齢者や障がい者に対し、災害時に備え要支援者名簿登録を行う。 ・幅広い年代の市民が集い、戦没者への哀悼の意を表するとともに、平和への思いを改めて認識して未来へつなぐことを目的として、戦没者追悼式を平和祈念式典と一体的に実施。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) ・高齢者、障がい者等 ・戦没者遺族、市民
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・避難行動要支援者に対して、関係機関と地域が連携して災害時に支援できる体制の整備を行う。 ・戦没者追悼式を平和祈念式典と一体的に実施することで、戦没者への哀悼の意を表し、幅広い世代が平和について考える機会とする。

項目	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
事業費(A)	千円	予算	12,551	14,596	18,755	16,822	22,119
		決算	10,267	14,768	13,192	14,286	
人件費(B)	千円	決算	10,924	15,254	6,033	15,881	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	21,191	30,022	19,225	30,167	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		3,262	3,402	3,687	3,897	3,900
対象あたりコスト(C/D)	千円		6	9	5	8	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
平和祈念式典(戦没者追悼式)参加者数	人	目標	180	180	200	200	中止
		実績	182	177	172	196	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
遺族会員のみならず幅広い世代の市民の参加により関心度が判断できる。 (前年までと変更した場合はその理由)			遺族会員数は年々減少しているが、会員以外の幅広い世代の参加を見込み、平和祈念式典と一体的に実施した令和元年度から1割増と見込んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度については中止とすることに決定した。				
遺族会員の参加率としていたが、幅広い世代が平和について考える機会としたため。							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 戦後70年以上経過し、戦没者遺族の高齢化が進み、遺族会員の参加率が年々減少傾向にある。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 平和祈念式典と一体的に事業実施することで、若い世代の参加者が増えた。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) さらに若い世代が参加できるような周知や、事業内容を検討する必要がある。

事業を構成する 事務事業①	社会福祉事務事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
【アクションプラン】 (2) 避難行動要支援者登録者数 (障がい者)【単年】	人	見込	340	400	400	400	400	
		実績	354					
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 災害時に支援が必要と考えられる方を対象に、支援を受けるために必要な基礎的な情報を市に登録し、その情報を毎年更新を行っている。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業②	戦没者追悼事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績	200 265	200	200	200	200
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
		実績						
(3) 遺族会員の参加率	%	見込	40	40	40	40	40	
		実績	39.7					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 令和元年8月10日 文化の家森のホール 平和祈念式典(一部戦没者追悼式)語り部による講話、中学生広島平和体験学習の報告など 遺族会員141人 うち戦没者追悼式参加者56人							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業③	社会福祉事務事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 避難行動要支援者の、障がい等の特性に応じた災害等の緊急時の支援体制等の構築のため、令和2年度からは現在の「社会福祉事務事業」から「障がい者災害時支援事業」へ移行する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) ・2025年までに避難行動要支援者個別支援計画の策定 ・多くの市民が平和について考える機会となるよう、市民主体による式典の開催

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・今年度中止としたことで、市民や遺族会にどんな影響が生じたかに留意しながら、今後についても、代替措置により事務及び財政負担を軽減できないか検討してください。 ・平和行政事業と戦没者追悼事業のさらなる連携を進めてください。
内部意見への回答		